

# わたしたちの川 村山野川調べ

東根市立大森小学校 第4学年

岡田真実、高橋愛結、伊豆田夕唯、小川心優、佐藤璃果、平山祥暉、大山諒成、神美優

## 村山野川新聞

東根市立大森小学校  
4学年  
平成28年10月20日

### 野川の水を調べて

ぼくたち四年生百五名は、総合的な学習の時間に、環境について考えよしのテーマのもと、身近な村山野川の環境を調べることになりました。そこで村山野川の水質調査とゴミ拾いを行いました。

野川の水質調査は、六月二十一日に行いました。その時、野川には水が流れてなかったため、上流の水を水質保全協会の方がじゅんべししてくださりました。天気が悪かったため、学校で検査を行いました。

わたしたちは、グループに分かれ、バックテストを行いました。水質保全協会や山形環境科学センター、美しい山形最上川フォーラムの方が教えてくださって、検査しました。検査の結果を、美しい山形最上川フォーラムにおくり、分せきしてもらいました。

水質検査は、六月三十日に下流の東根中央橋の水でも行いました。このときは、自分たちでやってみました。上流の東郷公民館付近の水とそこから約五キロメートルはなれた下流の東根中央橋のところで二回行いくらべることができました。検査は必ずしが、たけど、身近な川のことを調べることができてとても勉強になりました。川は、このままきれいにしておきたいです。

野川下流



東根中央橋

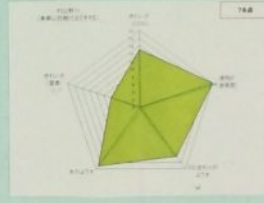
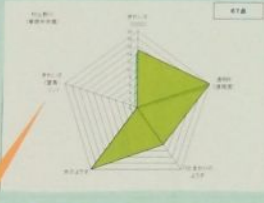
村山野川には、ツバメが元々よく飛んでいました。カモも泳いでいました。死魚のよい泳ぎぶりではかきまわすこともできず、とてもいいですね。たまに魚もかきまわすので、川がきれいになるといいですね。

東郷公民館付近



村山野川はここです。昔の頃は大雨は、ツバメがいないので、この村山野川で泳いでいたそうです。

野川上流



### 分かったこと・考えたこと

検査の結果、上流は88点で下流は67点でした。下流の方は手入れがされていますが上流の方が自然が残っているからだと思います。上流と下流をくらべて、透明さは同じくらいだけど、下流はあまりきれいではないことがわかりました。川とまわりのようすは上流の方がよかったです。下流があまりきれいではないのは、川のまわりごみがえいきょうしているからだと思います。まわりに工場があるのも、川がよごれる原因だと思います。わたしたちのまわりは、今、新しい家が建っています。人が多く、住みやすい街ですが、このままでは緑が少なくなってしまうので、自然があふれる所になるといいと思います。これからも、大切な野川を守りたいです。

きれいな(ちゅーぷリン) 富栄養化が考えられる。「富栄養化」は、栄養がふえるのだから、よいことのように思われるがリンや窒素がふえることで、水の中のバランスをくずし、見た目にも汚く空気が悪くなり、魚などの他の動物にも悪い影響を与えます。

### どの色がな。

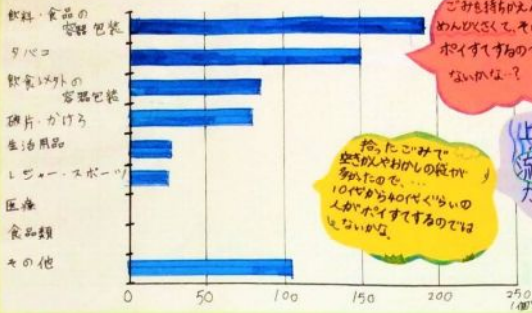


ぼくはバックテストのレオカが、お刀初めてわかりました。ポイントの中に水をいれると、色がうすくて、水のきれいなことがお刀初めてわかりました。けれど、予想していたようにきれいだったので、川の水をよごすようなことは、やめた方がいいと思います。

# 野川のごみを調べて

わたしたち四年生は六月三十日に野川のごみ拾いをしました。二十四班に分かれ、ゴミ袋を持って、村山野川の中央橋から若木橋まで約五百メートルを歩き、ごみを拾いました。ごみは川の岸辺に、たいてい川の近くの木の所から落ちていたり、草の間にもお菓子の袋や風船のかけらのような物もありました。草原よりも川の近くのほうがごみが多く落ちていました。

## 野川のごみ調べ



ごみはいろいろなものが落ちていたね!

ごみを持ちかえりかめんとくして、そのままポイ捨てするのはいいかな?

止からごみが流れてくるのかな。

拾ったごみを分別するとき、思ったよりごみが多かった。どの種類のごみがどのくらいあるかをグラフに表しました。その結果、一番多かったのは飲料・食品の容器包装で192ごみありました。次に多かったのはタバコで151ごみ、三番目は飲食以外の容器包装で85ごみでした。他に破片・かけらが80ごみ、生活用品が28ごみ、レジャーやスポーツに使う道具が26ごみでした。ハンベキューをしてちょっと川に袋などを捨てたり、大人がタバコを吸って、ごみ箱に捨てるのがめんどくさくて捨てたからかと思えます。

## ごみの種類を調べたよ

20分あるいて行くし、ごみを入れるふくろがぱんぱんになるくらいありました。



ごみは石の角に引かかっていたり、川の近くの木の近くに落ちていたりしました。



もえるごみは9.1kgありました。  
もえないごみは4.4kgありました。

## 咸相心

わたしは野川でゴミ拾いをしたとき、ぐんぐん手やおかしのふくろやもえないゴミ、びんやかんなどがすてられていて、野川がかわいそうだと思いました。ゴミは、石の角にちかかかっていた。わたしは、これからは、ゴミ拾いや、ごみをすてないよう、心がけたいです。これからは野川をきれいにしたいです。

## みなさんにおねがい

今日本ではゴミのポイ捨て、不法投棄がしても多いです。きれいな川や海にするためには、清く活動することが大切です。ごみをたくさん拾う活動に取り組んでもほしいので、河原や道に落ちていたり、ごみを捨てること、ごみ拾いへの第一歩を思い出します。ごみが川に流れるのも、おせき海や川にごみが入ります。ごみが川に流れるのも、おせきさんの清く活動に参加して、日本の海や川にあるごみをたくさん拾って、ごみにならないようにしよう。

## ごみをそのままにしておく



ごみをそのままにしておくと、川に住んでいる生き物たちが、そのごみにひびき、死んでしまうことが分りました。そうなる川は、よごれくさくさになり、それを飲んだ魚たちも死んでしまいます。他の野川もよごれくさくさになり、海に流れてきて、そこに住んでいる生き物たちも死んでしまいます。だから、川の所に捨てない方がいいと思います。